

火打山東面・快適!2000mの滑降

頸城 濁俣沢右俣～岡沢 山スキー

木下

【日時】2015年4月18日～19日
【メンバー】L木下 中村 長谷川

火打山・東面の宿題であった「濁俣川右俣」へ。兎平の開豁、圧縮された鬼ヶ城ゴルジュと変化が素晴らしい。澄川～容雅山、乙見尾根～ハンノキ平、そして本ルートは火打山東面を代表するルート・3本だ。どのルートも標高差2000m以上を滑降でき、高差、距離、景観の素晴らしいは本邦屈指のスキールートであろう。今回はなかなか実現できなかった3本目、好条件に恵まれ快適にトレースできた。

4/18 晴

車を二本木駅にデポして、電車/タクシーを乗り継いで笹ヶ峰へ。麓の桜は満開、車窓の景色を楽しむ。麓の桜とともにスキーエリアが移動してく・・・毎週お花見している、贅沢!



除雪の終了した笹ヶ峰は多くの人で賑わっている。まだ駐車場まで除雪されていないので路肩が車で埋まっている。樺林を縫ってシールで登る、黒沢はまだ雪に埋もれ沢沿いに進む。傾斜も程良く、良いピッチで登れる。

富士見平で大休止、天狗原山～金山～焼山～火打山・頸城の山々の展望を楽しめる。あれだけいた人はどこへ行ったのだろうか・・・姿もまばらになり静けさが戻っていた。黒沢岳をトラバースして高谷池ヒュッテへ。天気予報によると強風が吹くらしい、確かに風が強くなってきた。ま

た明日午後からの天気が怪しいので火打山は割愛して目的の濁俣川で直行することにする。



天狗の庭を通り、燕尾根基部のドロップポイントへ。雪庇の切れ目から



滑り込む、兎平は開豁な雪原で鬼ヶ城の岩壁を背景に緩斜面にスキーを走らせる。快適な斜面に思わず歓声を上げる。樺林を抜け、ゴルジュには右岸側から滑り込む。35度くらいの斜面、シュルンドに気を

つけながら最狭部へ。左岸は落石埋もれているが、右岸に滑降できる斜面があり、ここをスピーディに通過した。圧迫されたゴルジュから抜け大休止、振り返ると岩壁の上部から霧のような滝が降っている。開けた谷を一滑り、二俣近くの中間尾根に「トマハウス」を作成。本日はとても良

い出来。ポイントはフライの大きさに合わせた設定と積み上げるブロックのコーナーの作り方で
あろうか。出来栄えに3人満足、快適な夕餉を過ごした。

4/19 晴のち雨

昨日通りかかった地元の岳人に濁俣川・右岸ルートを教えてもらった。今日は時間もあるので
「行ってみよう!」。沢は次第に口をあけるようになり、慎重にルート見極めて左右にスノーブリッジ
を渡る。南又沢を合わせ、標高890m付近の堰堤下を右岸に渡り返し、ここから20m程登り、
右岸尾根に乗る。尾根は緩やかなアップダウンがあり、ヒールフリーで歩く。高所山方面に緩い



尾根を下って行くと杉林が現れ、沢沿いを下ると
標高630m付近で林道に出た。

一般的な左岸ルートだと日曹第3発電所からの
登り返しがあるのでこのルートはなかなか良いか
と思う。

日曹第1発電所から除雪があると聞いていた
ので、岡沢に進路をとる。しかし途中から除雪が
入っており林道脇の雪を拾いながら岡沢へ、結局
集落までスキーを使うことができた。車を回収し
て、湯楽里館で温泉に浸かっていると雨が降り出
した。天気の見込みも大当たり!仕上げの「キトキト
寿司」を満喫して帰京。



【行程】

4/18 笹ヶ峰(8:00)-黒沢(9:00)-富士見平
(10:45)-高谷池(11:15)

-2300m燕尾根基部付近(12:15)-ゴルジュ入
口(12:40)-出口(13:00)-濁
俣沢二

俣手前/1200m付近C1(13:40)

4/19 C1(7:30)-二俣(7:50)-標高890m
堰堤(8:10)-濁俣川右岸尾根(8:30)-林道(9:

20)-岡沢(10:15)

【地図】赤倉 妙高山 関山 湯川内



濁俣川右俣ゴルジュに滑り込む